

2013-12-12

東大阪市「まちづくり担い手養成講座」がはじまりました

「自分たちのまちは自分たちでつくる」を合言葉に実施している「まちづくり意見交換会」は、今年度以降も継続的に行い、意見交換の中で出てきた事業案をカタチにしていくことをめざしています。

この度、新たにスタートした「まちづくり担い手講座」では、まちづくり活動に必要な「場」の運営や「意見の共有」、「事業の運営」のノウハウを学んでいただき、今後のまちづくり活動の中核としての活躍や活動支援、コーディネートに携わることをめざされてる方を対象に講座を実施していきます。

**東大阪市
まちづくり担い手
養成講座、はじまります。**

参加者募集!!

東大阪では、自分たちのまちを自分たちでつくる、まちづくりを推進し、今年度から「まちづくり担い手養成講座」を実施しています。
この養成講座では、まちづくり活動に必要な「場」の運営や「意見の共有」、「事業の運営」のノウハウを学んでいただき、今後のまちづくり活動の中核としての活躍や活動支援、コーディネートに携わることをめざされてる方を対象に講座を実施していきます。

東大阪では、今年度から「まちづくり担い手養成講座」を実施しています。

「場」を運営する
まちづくり「場」を運営し、活動の場をつくるためのノウハウを学ぶことができます。また、まちづくり活動の場をつくるためのノウハウを学ぶことができます。

「共有」する
「場」で活動する意義を共有し、まちづくり活動の場をつくるためのノウハウを学ぶことができます。

「事業化」する
まちづくり活動の場をつくるためのノウハウを学ぶことができます。

まちづくり担い手養成講座（地区別）
東大阪市内のまちづくり活動の場をつくるためのノウハウを学ぶことができます。

地区	開催日時	開催場所	定員
東区	12月22日(日)	東大阪市民会館 大会議室	30名
南区	12月22日(日)	南大阪市民会館 大会議室	30名
北区	12月22日(日)	北大阪市民会館 大会議室	30名
東区	12月22日(日)	東大阪市民会館 大会議室	30名
南区	12月22日(日)	南大阪市民会館 大会議室	30名
北区	12月22日(日)	北大阪市民会館 大会議室	30名

【お問い合わせ先】
東大阪市民会館 大会議室
〒591-8501 東大阪市民会館 大会議室
TEL: 072-821-1111 FAX: 072-821-1112

【申し込み・参加費】
申し込みは、東大阪市民会館 大会議室
〒591-8501 東大阪市民会館 大会議室
TEL: 072-821-1111 FAX: 072-821-1112

12月22日（日）東大阪市民会館 大会議室にて、第一回の講座が行われました。会場には、実際に地域活動をされている方、地域コーディネートに関心が深い方など、それぞれに問題意識を持たれている方々が参加されました。



午前の部では、りそな総研・プロジェクトフェロー 藤原明さんによる「まちづくり担い手」の重要性、協働やビジネスモデルづくりのノウハウなど、ご自身の経験をもとに講座が行われました。

まちづくりにとって重要なポイントは、「課題」の抽出と「やるべきこと」の明確化。それを、しっかりと自身のものにできれば、協働やネットワークづくり、プロジェクト化につなげていくことができるという、藤原さんのお話により、参加者の方々が、何度もうなづき、熱心にメモを取られている姿が印象的でした。



参加者の方々には、ご自身の地域活動や、まちづくりに対する想いを語っていただきました。地域活動することの大切さや、やりがい、それぞれに抱えておられる問題点などを共有し、参加者同士のチームワークづくりにつなげていきます。



午後の部では、大阪産業大学・助手 檀上祐樹さんによる、まちづくりにとって不可欠な「コミュニケーション力」と、そのために身につけておくべき「アウトプット=可視化」の重要性に関する講義が行われました。

ご自身が、大阪府と協働で行われている「笑働の森プロジェクト」を実例に、さまざまな意見や問題、立場や役割などを越え、みんなが同じ目標に向かってプロジェクトを実践していく際のノウハウについてお話をされました。



後半は、みなさんがテーブルに別れての意見交換会。ご自身の活動や問題を語り合い、それを付箋に書き留めていきます。それぞれの「強み」と「弱み」を可視化し、次回以降の講座で、まちづくりにおける「課題」を発見し、「やるべきこと」を明確化していきます。





最後に、オプスデザイン・神崎恵美子さんから「笑働 OSAKA」の可視化プロセスに関するレクチャー。各地で行われている地域の活動は小さな「点」を、他の活動とつなげて「線」に、そして大きな「面」とするためには、計画書やパンフレット、インターネットなどのメディアをうまく活用すること。そのために「デザイン」が重要であるというお話でした。



5時間にも渡る講座でしたが、疲れた様子はなく、みなさんの目が輝いて見えました。それぞれの問題意識を参加者同士で共感し合うことで、「新しい一歩」への実感が湧いてこられたのかもしれませんが。笑働 OSAKA では、全6回の養成講座を、今後も引き続きウォッチしていきたいとおもいます。